

ISO/IEC/JIS Plastics 事務局便り 2018年3月 ISO/

TC61(プラスチック)第66回年次国際会議開催

1. はじめに

第66回 ISO/TC61 国際会議が、2017年9月18日～22日の5日間にわたり、韓国・テジョンの Daejeon Convention Center (DCC)で開催された。

会議には20カ国、約150名が参加し、極東での開催ということもあり今年の20カ国、約260名に比べ参加国は同数ではあるが参加者は少なかった。

日本からは、隣国での開催ということもあって宮入裕夫（東京医科歯科大学名誉教授）団長をはじめとして79名(昨年：68名)が参加し、日本からの参加者が約半数を占めた。これは日本から多数提案されている表れでもある。

2. TC61の構成・活動状況

ISO/TC61は、表1に示すように傘下に11のSCがある。TC61及び各SCの傘下にWGがあり、現在全部で55のWGが活動している。

このうち、SC14「高分子と環境」が新設され今回より活動を開始した。

ISO/TC61 幹事国は中国、議長国はドイツであり、参加P-メンバーは31カ国、O-メンバーは36カ国である。保有規格数は682、開発中の規格は149あり、大きなTCを形成している。この中で、日本は3つのSCの幹事国を引き受けており、TC61における日本の存在感は大きい。

1週間の会議期間において、TC61及び全てのSCの会議、及び全55WGのうち44のWGの会議が開催された。WGでは、新規提案や投票結果の審議が行われ、WGの上位にあるSCまたはTCにおいてWGでの審議結果が承認されることにより、規格開発の段階を着実に進めることができた。

3. 会議概要

従来、TC61全体会議は最終の金曜日に開催され、各SCの審議概要を各議長が報告を行

表1 TC61の構成 (TC61: 幹事国 CN, 議長 DE)

SC	幹事国	議長	タイトル	活動中WG数
SC 1	GB	US	用語	2
SC 2	CN	KP	機械的性質	7
SC 4	GB	GB	燃焼挙動	5
SC 5	DE	DE	物理・化学的性質	7
SC 6	DE	DE	耐老化, 薬品, 環境性	3
SC 9	KP	KP	熱可塑性プラスチック	14
SC10	CA	CA	発泡プラスチック	5
SC11	JP	JP	製品	5
SC12	JP	JP	熱硬化性材料	3
SC13	JP	JP	複合材料及び強化繊維	5

っていた。一昨年より、多くの参加者が出席可能な初日の朝にもTC61全体会議を開催することとなった。そこでは、SCの議長、幹事の確認や一週間の予定の説明、トピックスの紹介が行われた。通常の会議の他に"リーダーズ会議"(TC61、各SCの議長、幹事及び各国

代表が参加) が開催された。

また、"Plastics joining"について自由に議論する会が開催された。

4. トピックス

1) SC14"プラスチックと環境"の新設

現在 SC5 の傘下にある WG22 (生分解性プラスチック)、WG23 (バイオベースプラスチック) 及び AHG1 (マイクロプラスチック) を SC5 から分離し、さらに"リサイクル"等を加えた新規の SC "プラスチックと環境"が新設され今回より活動を開始したが、名称を"環境側面"に変更する案が提案された。また、傘下に WG1"用語、分類、一般指針"、WG2"生分解性プラスチック"、WG3"バイオベースプラスチック"、WG4"マイクロプラスチック"を設置することが決議され、WG5"廃棄処理、リサイクル"の設置が検討される予定である。このうち、WG2 のコンベナーには産業総合研究所 国岡正雄氏が就任した。

2) プラスチック ジョイニング会議

TC61 のスコープ改正に伴い、自由に議論する場として開催されたが、適切な名称と適用範囲の議論に終始したため、今後 WG を設置して議論を継続することとなった。

3) 今後の TC61 年次会議の開催予定

2018 年の TC61 年次会議は日本で開催される。開催場所はさいたま市の大宮ソニックシティで、期間は 2018 年 9 月 24 日 (月) ~28 日 (金) である。

2019 年以降の開催地は今のところ未定である。

(以上)